

- ▶ 本県では、今後重要となる非住宅分野等の木造化・木質化を進めるために不可欠な木造建築物の設計スキルを持った建築士が不足している。
- ▶ このため、木造設計に関する構造や防耐火等の識者による講習会等を開催することで、木造建築物の設計スキルを持った核となる建築士を育成し、県内の非住宅分野等における木造化・木質化の推進を図る。
- ▶ 令和5年度は、中高層木造建築物等の設計に必要な構造や防耐火等に関する知識のスキルアップや県産材の規格・性能や流通等の知識の習得に取り組んだ。

## □ 事業内容

### 1 みやざき材を魅せる「空間・人」づくり事業（建築士育成事業）

- 木造建築の設計に必要な構造、防耐火、遮音等、その他分野の識者を講師にした「みやざき木造塾」を開催し、建築士の育成を図る。

【事業費】3,170千円（うち譲与税1,585千円）

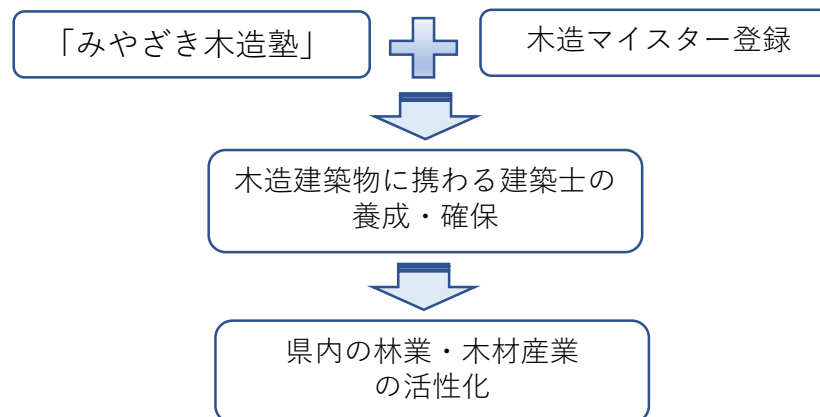
【実績】第1回 7月31日 現場視察:児湯広域森林組合建設現場  
南九州木材市場、ランバー宮崎 等

- 参加者：26名
- 第2回 8月19日 講義：構造設計、木造4階建てビル  
参加者：30名
- 第3回 10月17日 講義：宮崎県の林業動向、  
中大規模木造建築物の課題  
参加者：31名
- 第4回 11月24日～11月25日 現地見学会：日本文理大学、  
大分県立美術館 等  
参加者：25名
- 第5回 1月27日 講義：木材流通、温熱環境・省エネ設計  
参加者：25名
- 第6回 3月2日 講義：構造建築、防耐火、事例発表  
参加者：33名
- ※木造マイスター登録者：32名（R6.8月時点）



（みやざき木造塾2023の様子）

## □ 事業スキーム



## □ 工夫・留意した点

- 「みやざき木造塾」の修了者で一定の要件を満たすものを「木造マイスター」として登録することで、木造建築物に携わる建築士等の養成及び確保を図る。

## ◇ 基礎データ

①令和5年度譲与額：184,332千円	②私有林人工林面積（※1）：176,375ha
③人口（※2）：1,069,576人	④林業就業者数（※2）：3,587人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2年国勢調査」より